

85th
since 1927
Anniversary

Business Report 2012

第135期 年次報告書（平成23年12月1日～平成24年11月30日）



HOTEL NEW GRAND

株主の皆様へ

To Our Shareholders



当事業年度における我が国経済の状況を顧みますと、前事業年度3月に発生しました東日本大震災直後の急激な落ち込みからの回復基調にはあるものの、海外経済の減速と円高から景気は足踏み状態に陥りました。

当ホテル業界におきましては、震災直後は大幅な業績悪化が懸念されたものの、当横浜地区においては、首都圏に隣接する観光地としての位置付けから、回復傾向が予想以上に顕著に推移いたしました。

こうした状況の下、当社におきましては、前事業年度は赤字計上を余儀なくされましたが、当事業年度につきましては黒字達成を目標に、震災後の難局を乗り越えるべく全社一丸となって営業活動に注力し、新たな催事や企画による販路拡大に向けた販売促進策の展開、開業85周年記念企画商品の販売、国内外への営業活動強化、当社伝統料理のメディアへの積極配信等により、宿泊・宴会・食事の主要部門の売上確保に全力を注いでまいりました。

一方で、経費面におきましては、震災後、人件費を始めとしたあらゆる経費の見直しを図るべく着手した全社的な経営合理化を継続し、効率的な経営に努め、収益の確保に邁進いたしました。

以上の結果、売上高は前事業年度はもとより、東日本大震災発生以前の平成22年11月期を上回り、3期振りの黒字を計上することができました。

即ち当事業年度の売上高は53億43百万円（前事業年度比12.2%増）、営業利益は2億5百万円（前事業年度は36百万円の営業損失）、経常利益は2億5百万円（前事業年度は36百万円の経常損失）、当期純利益は1億16百万円（前事業年度は49百万円の当期純損失）となりました。



代表取締役会長
原 範行



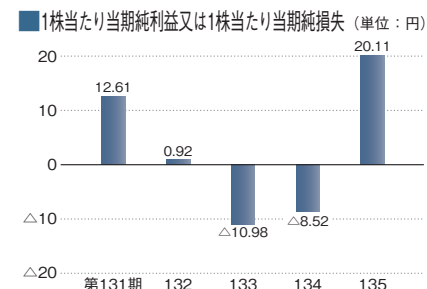
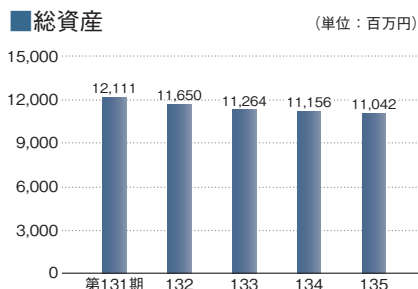
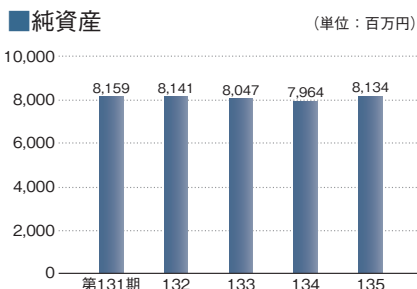
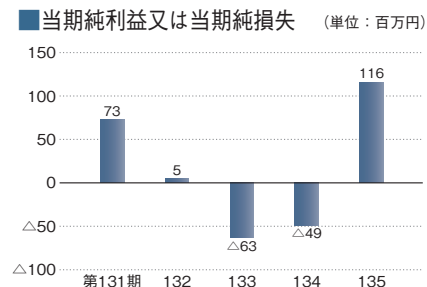
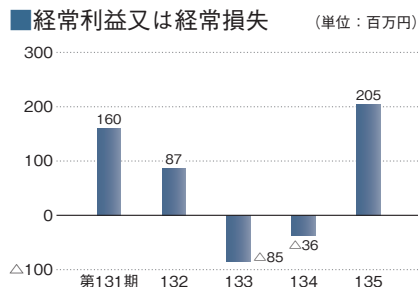
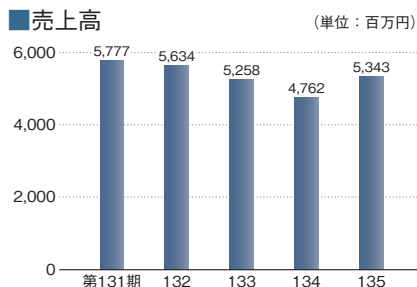
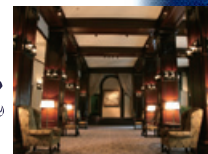
代表取締役社長
濱田 賢治

(平成25年2月27日就任)



財務ハイライト

Financial Highlights



区分	第131期 (平成20年11月期)	第132期 (平成21年11月期)	第133期 (平成22年11月期)	第134期 (平成23年11月期)	第135期 (平成24年11月期)
売上高(百万円)	5,777	5,634	5,258	4,762	5,343
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	160	87	△ 85	△ 36	205
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	73	5	△ 63	△ 49	116
純資産(百万円)	8,159	8,141	8,047	7,964	8,134
総資産(百万円)	12,111	11,650	11,264	11,156	11,042
1株当たり純資産額(円)	1,402.36	1,400.16	1,384.59	1,370.87	1,400.78
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	12.61	0.92	△ 10.98	△ 8.52	20.11
自己資本比率(%)	67.4	69.9	71.4	71.4	73.7
自己資本当期純利益率(%)	0.9	0.1	△ 0.8	△ 0.6	1.5

事業別概要と今後の課題

Business Review



■ 宿泊部門

客室単価は前事業年度を下回ったものの、稼働率が上回り、売上高は11億29百万円（前事業年度比15.1%増）となりました。

■ 宴会部門

婚礼件数及び一般宴会の件数とも前事業年度を上回り、売上高は23億23百万円（同11.7%増）となりました。

■ 食事部門

前事業年度の縮小営業から通常営業となり、来店客数が増加したことにより、売上高は14億23百万円（同14.9%増）となりました。

この結果、ホテル部門の売上高は50億63百万円（同12.7%増）となりました。また、支店である高島屋横浜店 ルグラン及びそごう横浜店 パーシーガーディアンⅢや、賃貸ビルのグランドアネックス水町（テナントビル）他も増収となりました。

部門区別		売上高	構成比
		千円	%
ホテル	宿泊部門	1,129,039	21.1
	宴会部門	2,323,720	43.5
	食事部門	1,423,189	26.6
	その他の部門	187,161	3.5
ホテル部門合計		5,063,111	94.7
支店	高島屋横浜店 ルグラン	162,254	3.1
	そごう横浜店 パー シーガーディアンⅢ	59,717	1.1
賃貸ビル	グランドアネックス水町他	58,124	1.1
合計		5,343,208	100.0

■ 設備投資の状況

当事業年度は総額1億4百万円（うち、資産の取得は65百万円）の設備投資を行いました。設備投資の主なもの、客室改修及び寝具の更新（22百万円）、婚礼宴会・売掛管理システムの更新（10百万円）、通信環境の改善費用（7百万円）、省エネ対策費用（7百万円）などです。

■ 対処すべき課題

国内におきましては、景気回復への期待感もありますが、外需産業においては、海外経済と為替に対する先行き不透明感もあって、まだまだ予断を許さない状況にあります。

かかる状況の下、当社は、昨年12月に開業85周年を迎え、引続き地元横浜における地位を確保し、株主の皆様への利益還元に向け、競争力を高め、働き甲斐のある職場環境を構築し、事業価値の向上に堅実に努めてまいります。

東日本大震災後の難局を乗り越えた経験をもとに、売上と集客の増進、ホスピタリティの一層の向上に注力し、経営面におきましても、一層の効率化を追求し、収益力向上を図る所存です。

加えて、重要な経営資源としての本館の価値向上、ならびに企業体力に合致する給与・退職金制度の見直しにつきましても検討の上、進めてまいります。

当社を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、85年に亘り着実に積み上げてきた高品質な料理やサービスを基盤として、伝統を継承し、発展創造させる施策を着実に実行してまいります。

何卒株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2012.11.30	前事業年度 2011.11.30
(資産の部)		
流動資産	1,612,909	1,370,854
現金及び預金	1,198,303	984,571
売掛金	273,850	222,682
料飲材料	34,638	34,362
貯蔵品	39,754	41,510
前払費用	21,268	18,580
繰延税金資産	34,402	53,183
その他	11,161	16,342
貸倒引当金	△470	△380
固定資産	9,429,852	9,786,038
有形固定資産	9,210,759	9,567,898
建物	5,625,851	5,800,585
建物附属設備	450,709	587,154
構築物	20,120	24,450
機械及び装置	16,569	28,181
車両運搬具	5,903	1,806
器具及び備品	94,757	149,873
土地	2,972,803	2,975,845
建設仮勘定	24,045	—
無形固定資産	56,229	54,640
借地権	43,734	43,734
その他	12,495	10,906
投資その他の資産	162,863	163,499
投資有価証券	126,312	124,469
差入保証金	10,000	10,000
保険積立金	25,000	25,816
長期前払費用	1,550	3,213
資産合計	11,042,761	11,156,892

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2012.11.30	前事業年度 2011.11.30
(負債の部)		
流動負債	1,165,722	1,292,437
買掛金	384,450	355,448
短期借入金	—	400,000
未払金	74,814	90,817
未払費用	261,635	198,577
未払消費税等	32,319	10,347
未払法人税等	184,900	11,500
未払事業所税	15,581	15,439
前受金	195,035	173,611
預り金	10,791	10,331
ポイント引当金	2,255	2,388
災害損失引当金	3,389	23,506
その他	548	469
固定負債	1,742,143	1,899,612
預り保証金	284,778	290,830
退職給付引当金	681,344	654,791
役員退職慰労引当金	130,104	121,705
繰延税金負債	59,564	163,581
再評価に係る繰延税金負債	586,351	668,704
負債合計	2,907,865	3,192,050
(純資産の部)		
株主資本	7,623,167	7,536,350
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
資本準備金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	829,150	741,384
利益準備金	66,144	66,144
その他利益剰余金	763,006	675,240
買換資産圧縮積立金	576,865	660,466
繰越利益剰余金	186,141	14,774
自己株式	△23,993	△23,044
評価・換算差額等	511,728	428,491
その他有価証券評価差額金	△2,722	△3,606
土地再評価差額金	514,451	432,098
純資産合計	8,134,895	7,964,842
負債・純資産合計	11,042,761	11,156,892

財務諸表

Financial Statements



損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	2011.12.1~ 2012.11.30	2010.12.1~ 2011.11.30
売上高	5,343,208	4,762,374
売上原価	1,734,625	1,552,785
売上総利益	3,608,582	3,209,588
販売費及び一般管理費	3,403,039	3,245,889
営業利益又は営業損失 (△)	205,542	△36,301
営業外収益	2,439	3,933
営業外費用	2,133	4,417
経常利益又は経常損失 (△)	205,849	△36,784
特別利益	1,989	—
特別損失	4,162	37,661
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失 (△)	203,676	△74,446
法人税、住民税及び事業税	173,055	3,752
法人税等調整額	△86,195	△28,671
当期純利益又は当期純損失 (△)	116,816	△49,527

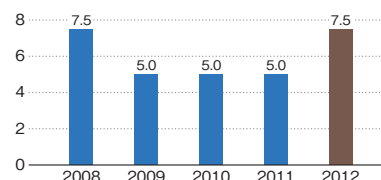
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■配当金について

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつに位置づけております。このため長期に亘る安定的配当の継続を基本方針とし、節目においては記念配当を実施するなど利益の還元を努めてまいります。

また財務体質のより一層の強化のため、内部留保の充実に努める一方で、施設・設備の充実等将来のための有効投資もしてまいります。

配当金の推移 (単位: 円)



株主資本等変動計算書 当事業年度 (2011.12.1~2012.11.30)

(単位: 千円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	土 地 再評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計		
		資 本 準備金	資 本 剰余金 合計		そ の 他 利 益 剰 余 金	利 益 剰余金 合計							
当期首残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	660,466	14,774	741,384	△23,044	7,536,350	△3,606	432,098	428,491	7,964,842
当事業年度中の変動額													
剰余金の配当							△29,050	△29,050	△29,050				△29,050
当期純利益							116,816	116,816	116,816				116,816
任意積立金の取崩					△125,582	125,582	—	—	—				—
税率変更に伴う買換資産 圧縮積立金の増加					41,981	△41,981	—	—	—				—
自己株式の取得								△948	△948				△948
株主資本以外の項目の当事業 年度中の変動額 (純額)										883	82,352	83,236	83,236
当事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△83,601	171,366	87,765	△948	86,817	883	82,352	83,236	170,053
当期末残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	576,865	186,141	829,150	△23,993	7,623,167	△2,722	514,451	511,728	8,134,895

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



株式の状況/会社概要

Stock Information/Corporate Data



株式の状況 (2012年11月30日現在)

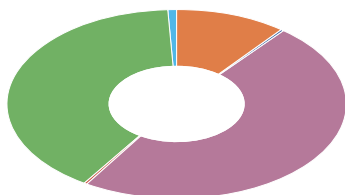
① 発行可能株式総数	23,000,000株
② 発行済株式の総数	5,856,400株
③ 株主数	862名
④ 大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
原 範行	431千株	7.42%
株式会社横浜銀行	285	4.91
清水建設株式会社	235	4.04
東日本旅客鉄道株式会社	219	3.77
野村弘光	216	3.72
株式会社フォースアンドカンパニー	183	3.15
麒麟麦酒株式会社	165	2.84
上野興産株式会社	164	2.83
榊原三郎	162	2.78
セコム株式会社	160	2.75

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(48,995株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

金融機関	7名	627千株	10.71%
証券会社	4名	1千株	0.03%
その他の法人	92名	2,822千株	48.20%
外国法人等	5名	1千株	0.02%
個人・その他	753名	2,353千株	40.17%
自己株式	1名	48千株	0.83%



会社の概況 (2012年11月30日現在)

創 立	1926年7月6日
創 業	1927年12月1日
資 本 金	34億5,500万円
主 な 事 業 内 容	ホテル経営
従 業 員 数	299名(内正社員外115名)

取締役及び監査役の状況 (2013年2月27日現在)

代表取締役会長	原 範 行
代表取締役社長	濱 田 賢 治
常 務 取 締 役	吉 田 一 継 (営業部門統括 総支配人)
常 務 取 締 役	里 見 辰 彦 (管理部門統括)
取 締 役	野 村 弘 光
取 締 役	上 野 孝 孝
取 締 役	宇 野 公 博
取 締 役	三 村 智 之
取 締 役	宇佐神 茂 (総料理長)
取 締 役	佐 野 剛 (執行役員宴会部長)
取 締 役	岸 晴 記 (経理部長)
常 勤 監 査 役	小 島 偉 義
監 査 役	勝 治 信
監 査 役	野 村 哲 也
監 査 役	岡 崎 真 雄

(注) 1. 取締役上野 孝、宇野公博、三村智之の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役勝 治信、野村哲也、岡崎真雄の3氏は社外監査役であります。
3. 常勤監査役小島偉義氏は、当社の経理部担当役員として平成19年2月まで通算10年に亘り決算手続ならびに財務諸表の作成に従事しており、財務・会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 当社は、取締役上野 孝氏を株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から11月30日まで
- 定時株主総会 毎年2月に開催
- 単元株式数 1,000株
- 期末配当金受領株主確定日 11月30日
- 中間配当金受領株主確定日 5月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 公 告 掲 載 U R L <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
- 証 券 コ ー ド 9720
- 上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所 (JASDAQ市場)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中区山下町10番地

TEL 045-681-1841 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>